

# 日本自殺総合対策学会 2024 年度総会 議事要旨

1. 日 時: 2025 年 3 月 11 日(火)17:00~17:30

2. 開催方法: Zoom によるオンライン会議

3. 出席状況: 会員: 27 名(委任状 18 通含む)

## 4. 配布資料

資料 1: 2024 年度活動報告

資料 2: 現在の会員数及び 2024 年度の入退会

資料 3: 2025 年度事業計画

資料 4: 2025 年度収支予算

## 5. 議 事:

### (0)開会

(定足数の確認)

・普通会員 63 名のうち、9 名の出席および 18 名からの委任状提出があり、委任状を含めて出席者: 27 名で会議が成立した。(定款第 17 条)

### (1) 2024 年度の活動報告

・椿理事長より、資料 1「2024 年度活動報告」に基づき、2024 年度の学会活動についての報告があった。その中で、5 月の理事会では、学会の自走化、JST-RISTEX について、今年度のイベントについての方向性を議論したという報告がされた。また、6 月には政策研究会、11 月には秋季講演会を開催し、両イベントとも参加者の満足度が大変高かったことの報告があった。

### (2) 2024 年度の会員の入退会について(報告)

・椿理事長より、資料 2「現在の会員数及び 2024 年度の入退会」について報告があった。2024 年度は入会者 25 名、退会者予定者は 4 名で、全体では 21 名増となり、2025 年度から新規会員になる方がすでに 5 名いることの説明があった。

### (3) 2025 年度事業計画及び予算(報告)

- ・椿理事長より、資料 3「2025 年度事業計画」について説明があった。
- ・2025 年度の方針として、自殺総合対策に関わる自治体や市民活動の悩み事、必要な連携支援研究などを議論できる場を創出し、現場の知と学術の知を有機的に繋ぐことを目標とするという説明があった。また、JST-RISTEX プログラムに採択された岡理事のプロジェクトに全面的に協力し、学会の事業を強化したいという話があった。
- ・2025 年度の具体的な事業としては、1)自殺総合対策部および孤立孤独対策に係る事業として、政策研究会活動や講演会活動をそれぞれ年間 2 回程度開催し、現場の現状共有や課題解決方法の議論を行う、2)日本自殺総合対策学会内に、現場の孤立孤独対策を支援するネットワークを形成し、必要な指針やガイドラインの提案活動を開始する、3)学会運営のあり方や会員へのメリット提供について検証・検討を行い、学会事業の情報公開や論文誌への投稿勧告などを通じて、新規会員の獲得に繋げる、という説明があった。
- ・会計担当の生水理事より、資料 4「2025 年度収支予算」について報告があった。
- ・収入は実際よりも少なく見積もっていること(会員数が増える見込みのため)、JST-RISTEX の岡プロジェクトとの共催によりイベントに関わる支出の部分も若干変動が見込まれる旨が説明された。また、繰越金が減少傾向にあるため、会員数を増やして収入を確保する必要があるという説明があった。

### (4) その他

- ・会員からは、オンラインでの学会開催の利点がある一方、対面での良さもあり、エクスカージョンなどの企画の検討、ハイブリッド形式でのイベント開催を模索する必要があるという意見があった。
- ・岡理事より、JST-RISTEX のプロジェクトと共催のイベントの運営について、岡プロジェクトとして次年度より学会運営のスタッフ拡充や引継ぎを進められるという話があった。
- ・会員から現場の問題や活動に関する情報を収集し、学会として共有・発信していくことも重要であるという話があった。

以上、この議事要旨が正確であることを承認する。

2025 年 3 月 19 日

日本自殺総合対策学会 理事長 椿 広計  
理事 岡 檀  
理事 生水 裕美